第2部　計画の基本的な考え方

Ⅰ　基本理念・基本目標　20

Ⅱ　基本方針　21

1　子どもの幸せをまず基本に考え、子どもがいきいきと健やかに育つ環境をつくります　21

2　親が親として育ち、安心して子育てができるように支援します　21

3　子ども・子育てを見守り、はぐくみ、支える地域をつくります　22

4　社会全体で子育てを支援し、子育てを応援していく意識づくりに努めるとともに、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を推進します　22

Ⅰ 基本理念･基本目標

本計画の基本理念、基本目標は次のとおりです。

【基本理念】

次代を担う子ども一人ひとりを
生まれる前から大切にし、
子どもの立場･視点を最大限尊重します

【基本目標】

ひとみ輝け！府中の子どもたち
心豊かな子どもがいきいきと育つまち

- 子どもは一人ひとりが生まれながらに無限の可能性をもつ存在です。また、明日の社会を担う大切な存在です。
- 安心して子どもを産み、その子どもが周囲の愛にはぐくまれ、自らの可能性を生かしながら、心豊かにいきいきと育つことは、家族の望みであるだけでなく、わたしたちの社会にとっても大切な願いです。
- 子どもたち一人ひとりを生まれる前からかけがえのない存在としてとらえ、子どもの人権を尊重するとともに、子どもの利益が最大限に考慮されるよう、子どもの視点に立ちます。
- 子どもが豊かな人間性を形成し、将来、自立した人間として自己実現することができるよう取り組みます。

Ⅱ 基本方針

本計画では、子ども支援、親支援、地域づくり、社会全体での子育ての4つの観点から、次のとおり方針を定めます。

1 子どもの幸せをまず基本に考え、子どもがいきいきと健やかに育つ環境をつくります

- 子どもの幸せな成長を基本として、すべての子どもがもって生まれた「育つ力」を最大限に活かし、いきいきと健やかに育つことができる環境をつくります。
- 親や地域の人びとと協力して、子どもの育つ力を信頼し、子どもにとって最も望ましい状態を考えながら、子どもの成長・発達を支援します。
- 「児童の権利に関する条約*」にも述べられているように、すべての子どもを一人の人間として尊重する視点を大切にし、その最善の利益が保障されるよう支援します。
- 要支援・要保護児童*とその家庭など、特にサポートを必要とする子どもや家庭の自立を支援します。

2 親が親として育ち、安心して子育てができるように支援します

- 親が自信をもって子育てをするとともに、子育てに喜びを感じることができるように、育児の多様性に配慮しながら、子育てを支援します。
- 家庭の養育機能や地域の子育て機能が低下している中、親の育児の負担感が軽減できるよう、子育て家庭を支援します。
- 子育ての負担・不安の緩和に努めます。
- 身近に子どもや子育てにふれあう機会のないまま親になり、子どもとの接し方や子育てに悩む親を支援します。
- ドメスティック・バイオレンス*（以下「DV」という。）をはじめ、生活不安や社会からの孤立など、子育て以外の悩みや不安を抱える親を支援します。
- 安心して出産し、子育てに臨めるよう、妊娠期から出産にかかわる悩みや不安の解消に向けて支援します。

3 子ども・子育てを見守り、はぐくみ、支える地域をつくります

- 子どもが健やかに育ち、安らぎのある子育てが実現されるよう、企業や関係機関と連携して、子どもや子育て家庭が暮らしやすい環境を整備するとともに、地域の人びとが子どもの成長にかかわる地域づくりを進めます。
- 地域の人びとが子どもや子育てに対して関心をもち、地域全体で子どもを見守り、はぐくみ、支える意識を高める活動を進めます。
- 地域の人びとが主体的に子どもの育成や子育て支援にかかわる仕組みをつくり、子どもや子育てを支える地域づくりを進めます。
- 従来の地縁的なむすびつきを中心とした活動のみならず、地域を超えた子育てネットワークをはぐくみ、新たなコミュニティが形成されるように支援します。
- 子どもや子ども連れ、妊娠中の女性などだれもが安心して、快適に過ごせるように、ユニバーサルデザイン*の視点（特に子どもの立場に立った視点）に基づいたまちづくりを進めます。

4 社会全体で子育てを支援し、子育てを応援していく意識づくりに努めるとともに、ワーク・ライフ・バランス*（仕事と生活の調和）を推進します

- 社会の人びとすべてが、子どもを一人の人間として尊重し、最大限、その幸せな成長に配慮できるように意識啓発を図ります。
- 喜びをもって子育てを行い、一人ひとりの子どもが心豊かにいきいきと育つよう、家庭・地域・行政・企業・NPO*や市民グループなど社会全体で子どもと子育てを支援する環境づくりを進めます。
- 社会全体が子育ての大切さを理解し、子どもや子育てを暖かく見守り、応援する気運が醸成されるよう社会に働きかけていきます。
- 男女がともに家族としての責任を担い、仕事と子育ての両立ができるよう、市民への意識啓発や家庭への支援、企業への働きかけなど多角的に取り組み、ワーク・ライフ・バランス*の普及・啓発に努めます。
- 子育てと仕事の両立を支援します。